

OB紹介

『団塊の世代は戦う世代！』

創業5年で売上50億体制へ



株式会社 経営戦略会議
代表取締役 福井 久(2回生)

昭和46年度卒業生の福井で、早いもので大学を卒業して34年が経ちました。現在、妻と3人の息子がおりますが、長男は宮崎市の会社で勉強中、次男・三男は大学に通っております。

名古屋の製薬会社に営業プロパーとして就職しましたが、若気の至りで上司とぶつかり会社を飛び出しました。

故郷の佐世保に戻り、冠婚葬祭業大手の(株)メモリードに再就職し、結婚式場・斎場の立ち上げ・立て直しの実務指導を中心に21年間勤めました。その後、平成13年、最後の勤務地である群馬県前橋市で独立し、現在は葬儀会館12施設、結婚式場5施設とホテルを運営しています。また、今年の11月には、宮崎市にハウスウェディングをOPENさせます。私達は第一ベビーブームの生

まれて、学生時代から競争率の激しい中を生き抜いてきました。冠婚葬祭業界もまた激戦で、企業として知恵比べの戦いを日々送っています。

創業して5年経ち、来年度の売上は50億円が見込まれます。グループ社員数も500名になりましたが、母校の後輩は一人もおらず、九州出店を機にご縁があるかと期待しております。

今後、長崎県立大学の卒業生として、儲かる会社を作るのではなく、楽しい会社を作る。をモットーに、同窓生に恥じない仕事をしたいと思っています。

『鵬友会』の皆様も、ご健康にご留意下さいまして、益々ご活躍されますようお祈り申し上げます。

ホームページアドレス
<http://ksen.jp>

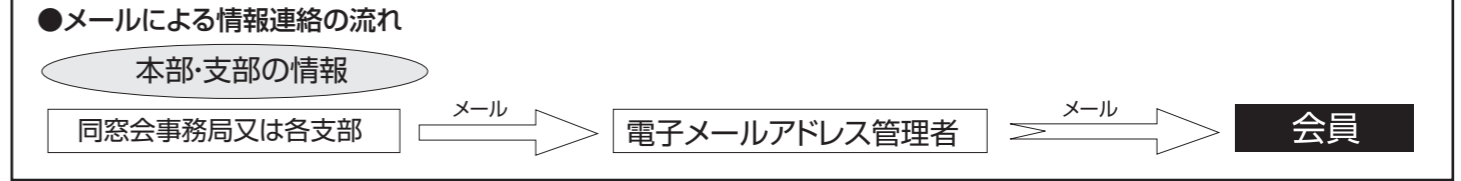


昨年オープンした本社ビル
右後方は直営ホテル「サンダーゾン」

メールでの情報を希望の会員はアドレスをお教えてください。

年々会員数が増加するなかで、総会や各支部活動の案内の連絡を、従来の郵便に頼っていたのでは、同窓会活動経費を圧迫してしまいます。そこで今後は積極的に電子メールを使った情報連絡に取り組むことを決議しました。つきましては、会員の皆様のメールアドレスを管理者にお教えてください。なお、会員の皆様からいただいたメールアドレスは、プライバシー保護の観点から、厳重に管理し、他へは一切漏らしませんので、ご安心ください。

メールアドレスの管理者氏名/小室 宏・役職/関東支部支部長・アドレス/komuro@ho-yu.com



創立四〇周年を目前にして

鵬友会会長 前田 敬一



構造改革の大きな流れのなかで長崎県立大学が独立行政法人に機構改革されて、約1年半がたちました。様々な手法が行われ多くの課題が解決されて、新生長崎県立大学が生み出されつつあるようです。特に対外的な評価が高まりつつあることは、入学試験時における志望倍率が他と比較して、少子化のなかにあっても以前と変わらない、もしくは上昇しているという点を見ても明らかであると思われれます。

長崎県立大学同窓会 鵬友会会報

Vol.19

発行

長崎県立大学鵬友会
佐世保市川下町一三三(大学内)
☎〇九五六一四七―五一一四六
☎二二〇一四七 九〇四四

この様に、長崎県立大学の将来について、現在のところ非常に明るく見えます。かたや鵬友会活動は、様々な試行錯誤を経て、現役学生に対する就職支援活動に、我々の存在意義を見いだすことが出来ました。即ち小室支部長をはじめとして、関東支部において立ち上げられた3年次を対象とする就職セミナーは、佐世保



へ発展し毎年150名に上る学生の参加があり、彼等の就職活動に多大に影響を与え、多くの貢献をしつつ、十数年を経てまさに鵬友会のライフワークとなりました。就職セミナーで指導を受けて卒業した会員が、後輩学生への指導を買って出してくれるのを見るとき、更に就職率が限りなく100%に近づいて来たのを見たとき、鵬友会の一員であったことの喜びを感じることができました。このように大学との信頼関係が、今まさに最大になろうとしているとき創立40周年を迎えようとしています。20周年や30周年で鵬友会が為し得たことを思い出すとき、1万を越えた卒業生の更に大きな母校に対しての貢献が期待されると思えます。

鵬友会の皆さんには日頃より本学のためにご尽力を賜り、心よりお礼申し上げます。さて、本学は昨年度より長崎県立大学法人が運営する大学に衣替えいたしました。法人化に際して、企業でいえば顧客満足度の最大化の観点から、学生本位の社会貢献の理念のもとに中期計画を建てまして就職員一丸となつてその実現に努力しております。昨年度の事業実績に対しては、長崎県公立大学法人より「概ね計画通り進んでいる」との評価を得たところでございます。多様な取り組みの中から教育に關するものを一部紹介しましょう。まず、英語、中国語を中心として高度なコミュニケーション能力を育成するインテンシブコースを設置しました。これは長崎国際経済大学以来の伝統である国際的識見とコミュニケーション能力に長けたビジネスパーソンの育成を強化した取り組みです。また、フィールドワーク、ボランティア、ポランティ



活動などの学生の社会活動に単位を与えて、即実践力を身につける多様な教育方法も実施されています。さらに、十人程度の小人数ゼミを四年間必修化して、学生一人一人の個性を育む教育の実現を図っています。就職については、学生の立場に立ったきめ細かい就職支援を行っており、今春の卒業生の就職率は九六%を上回りました。ただし、これは鵬友会からの多大なご支援の賜物でもあります。質の高い教育を行って有為な卒業生を多数輩出することが私ども教職員の使命であります。が、社会の第一線で活躍されている方々から「私は長崎県立大学の卒業生です」と言ってもらったことほど嬉しいことはありません。今後とも鵬友会と二人三脚で、すべての卒業生から「本学を卒業して本当によかった」と言ってもらえる大学づくりを進めたいと思っております。来々年、本学は創立四〇周年を迎えますが、再来年には県立長崎シーボルト大学と統合して総合大学に生まれ変わる予定です。本学は今、創立四〇年の伝統をジャンプ台として、さらなる事業の充実・拡大を目指しております。

事務局だより

新事務局員紹介

伊東めぐみさん

7月のブレ40周年記念総会に出席された方はご存知かと思いますが、今年2月より、これまでの松村さんに代わり、新しく事務局をお手伝いいただくことになりました。これまで巨り鵬友会を影から支えてくれた松村さんに心から感謝の念を贈りますと共に、伊東さんには、より一層新しい鵬友会になるよう応援していただきたいと思います。なお、伊東さんのお父さんは本学OB(昭和53年度卒)です。

本人からの一言
名前/伊東めぐみ
生年月日/1982年
(昭和57年) 11月生まれ
年齢 23歳
血液型/A型
星座/射手座
趣味/読書、ピアノ
今年の2月からお世話になっております。卒業生のみなさまのお力になれるように頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

住所変更はホームページでOK

鵬友会ホームページを見えていますか?

現在、鵬友会のホームページは随時リニューアルし、最新情報が盛り沢山。デザインも、以前とは一味違ったホームページになっています。大学の近況、鵬友会の活動状況、会員の声など情報が一目で……。

もちろん住所変更等にもご利用いただけます。

【ホームページアドレス】
<http://homepage1.nifty.com/ho-yu/>

事務局への連絡はフリーダイヤルが便利です。活用して下さい。

0120-47-9044

FAXもご利用いただけます。皆様とどん活用して下さい。

0659-47-5081

卒業生の皆さん鵬友会からの出欠ハガキ等は必ず返信して下さい。ちよつとした心掛けが同窓会を応援しているのです。

プレ四十周年記念総会 盛大に開催。

全国から100名の「鵬」が集結。

平成18年7月15日、晴。全国の鵬たちが一堂に集う日が幕開けとなった。役員はそれに先駆け、総会に向けての役員会を開催。一年間の活動報告や今年度の予定、決算報告、予算案など緊張の面持ちで進行。前田会長の統括も含め審議事項を滞りなく終了した。ついで、今回の目玉企画の会場を移して、今回の目玉企画の会場は、今年度の大会であることから、100名の団体戦であること、会場内は爆笑や拍手で皆、しばしの楽しさに酔いしれていた。次の日(2日後?)身体が痛かったのは私だけだろうか。

4時から鵬友会総会を開催。役員総会と同様、こちらは2年間の活動報告や今年度の予定、決算報告、予算案、来年の40周年式典に向けての大学との連携など異義もなく全てを承認してもらった。

極め付けは懇親会。懐かしい顔がずらりと並び、恩師の先生方も健在で安心。

前田会長のあいさつに続いて、来賓の木村道夫氏からは、今後の大学統合問題や校名変更などに迫った話でもあった。身近な窓会運営にも少なからず影響を与えることから、皆真剣な面持ちで聞き入っていた。恒例の就職セミナーを始め、鵬友会への日頃の感謝の気持ちを頂いた。若い副学長は考え方も斬新。今後の係わりが楽しみでも乾杯の音頭は一回生で前事務局

長の星野孝通氏にとつてもらい、発声で懇親会がスタートした。他に大学から、お馴染みの建野堅誠教授と岡崎教授。岡崎教授は最近偉く、全国を飛び回って理事に就任。全国を飛び回っておられるようで、当日も別の会合と掛け持ちで途中退席。事務局長は相変わらずお元気で若々しく感じる。

また、大学から現事務局長の山口周一氏、学生部長の吉居秀樹氏に出席を頂いた。

懇親会では、先に行ったボリリング大会の表彰式を行う。組み合わせの「アヤ」が優勝は会長チーム。豪華賞品をゲッソク。その他クイズ大会では名司会者の言葉に惑わされ、不正解が続出、楽しさも倍増であった。事務局に新しく入った伊東さんと本学OBの親子紹介などもあり、酒席が進むにつれ、参加者もお前!など各々のタイムスリップし親交を懐かしんでいた。

最後に目玉企画の二つ目、今日本中でプレレクに「佐世保パルティ」が、県外組は皆感動!懐かしい味にまたひとつ触れることができた。

そして建野堅誠教授の面白おかしい万歳三唱で終宴した。また2年後に逢いましょう。いつも楽しい会を企画してくれているレオプラザホテルの荒木氏に感謝します。

鵬友会総会

盛り上がった懇親会



中国支部

●支部長 平岡 弘幸 (49年度卒)
#0822・2547・02030
広島市西区橋本町4丁目1-606
(自宅)

今秋に支部総会開催予定

広島と福山では毎年1月に数名が集まって、近況報告や情報交換を行っています。先輩・後輩が各々元気に地域の中で活躍されておられる様子を聞かせて頂くこと、同窓として嬉しくもあり、頼もしく感じられます。今年この席で、卒業以来母校に行ったことがない方がほとんどで、このことで、鵬友会総会参加ツアーを企画し、佐世保や相浦を散策しようとの案が出ました。が、結局皆さん忙しく、実現出来なかったのは残念です。また、今年秋に、第6回中国支部総会も開催予定です。詳細は未定です。役員の方々とご相談の上、近々のうちに中国支部の方々にご案内を送付させて頂く予定にしていますので、よろしくお願致します。



関西支部

●支部長 星 憲男 (47年度卒)
#0722・955・5750
0670-21-2677
高石市千代田1-2-7

10月7日支部総会開催

10月7日(土) 17:00 新地駅5分リーガランドホテル14Fグランドスカイにて、支部総会を開催します。各人宛、案内状を送付いたします。来着の方等、不明な点あれば、左記迄連絡願います。又、当支部では、年1回3月の(土・日) 異業種交流会も行っています。

御意見、要望は、
TEL・FAX 078-794-1053
junkou@msg.higlobe.ne.jp
幹事 金子 順興

関西支部会員の声

昨年の例会に始めて、参加をさせて頂いてから、いろいろとお世話頂きました。人は老いと幼い頃が、なつかしいものだと思われ、先輩方の話しとして聞いたものでした。今、自分自身が五十才も過ぎ昔を懐かしむ年になって、実感として身にしみています。一念発起して例会に参加させて頂き、人生は人それぞれでしょうが、大学時代の様々の思い出(同期とか知り合いは一人もいらずしやらなかった)が懐かしかったです。これを期に、在阪の諸氏で、私みたいな立場の方がいらつしやいましたら、一度参加されたら良いと思います。私自身も今後共、時間と金(?)が許す限り、出来る丈、参加して行きたいと思っています。(52年度卒)野田 博行

佐賀支部

●支部長 森田 茂 (47年度卒)
#0955・46・4767
西松浦郡西有田町伊川内6-6
(自宅)

留学生に思いいつと

佐賀支部では2年に1回、1泊2日親睦を兼ねた総会を実施している。今年秋にその総会を予定している。したがって、17年度は佐賀支部独自の活動はこなっていない。もっぱら、支部長である私自身が本部の活動や大学の行事に参加した次第である。その中でも本部で2年に1回実施している留学生の激励会に参加したことが印象に強く残っている。県立大学には現在、中国からの留学生が40数名学んでいる。その留学生を励まそうとボーリング大会を開催し、懇親会も行った。印象に残ったのは、留学生全員の目が生き生きしている。また、ボーリングに取り組み姿勢が一生懸命という印象を受けた。懇親会では多くの留学生と話をすることができたが、感心したことは、殆どどの留学生が本国からの送り、国からの補助なしで、アルバイトで生活費や学費をまかなっているということ。留学生に日本人の学生の印象を聞いてみると、日本人の学生はあまり大学に出てこない。親からの送り生活して金はない。アルバイトとなつている。など日本人の学生は恵まれているという意見が多く聞かれた。卒業後、何をしたいかとの質問に対して、多くの学生が会社を興したいとの答えが返ってきた。日本人の学生の多くが就職を考えていることは違い、頑張れとの声援を送りたい気持ちになった。県

立大学の留学生だけがなくほとんどの留学生が苦学を強いられることを祖国に持ち帰りおおいに役立て欲しいと思う限りである。今年には佐賀支部の総会の年、まだ具体的な日程、場所等は決まっていないが、佐賀県在住の卒業生、諸君の多くの参加をお願いします。

福岡支部

●支部長 浜辺 千昭 (46年度卒)
#0922・895・0958
福岡市西区野間町2-4-608
(自宅)

今年も2つの活動の柱で

福岡支部では大きな活動の柱が2つあることはこれまでの会報でお知らせしましたが、昨年も同様の活動を行っております。鵬友会福岡支部の総会・懇親会は例年1月が多かったのですが、17年度は諸事情が重なり18年4月15日(日)天神・平和楼で開催しました。ホークス戦観戦チケットもれなくプレゼントや博多全日空ホテルお食事券の抽選会など楽しさ盛り沢山の会にも久しぶりの友とに会話に花が咲いたひとときでした。参加支部会員約30名、大学から木村副学長・山口事務局長・豊里就職課長、本部より前田会長、伊東事務局長、大分の稲葉支部長、外部来賓としてふくおか佐世保会山口幹事長にご出席頂きました。誌面を借りましてお礼申し上げます。その他本部役員会への出席や留学生歓迎会など本部との連携も欠かすことができません。もう一つの柱ふくおか佐世保会では、総



大分支部

●支部長 稲葉 茂雄 (47年度卒)
#097・543・8098
大分市青葉台2丁目9-10
(自宅)

大分県クロスワードパズル

ヨコのカギ
a) 荒川静香の〇〇パウアー。ちなみに「〇〇パ」は、将軍家光の乳母「春日の局」ゆかりの白杵藩主。本会大分支部長も同姓。
b) 前大分県知事が提唱した地域おこし運動。その後全国的な広がりを見せた。「〇〇〇一品運動」
c) 二〇〇五年レコード大賞に輝いた歌手(大分とは関係ありません)。
d) 本名南高節。かぐや姫結成、「神田川」など。大分市出身。他に、スターにしきの、千代大海、キヤノン・経団連の御手洗氏、経済学者の都留重人も県出身。
e) 九州に五つの国宝のうち宇佐三宮本殿と〇〇〇〇大堂が大分県にある。
f) 大分県南の都市。造船等の工業地帯。新鮮な魚ネタのにぎりずしが有名。正式には「サイキ」と表す。
g) 河豚、正式には「ゲ」と濁る。白杵には「globeのKEIKO」の

会、新春の集い、そしてふるさと訪問ツアーなど多くの企画をし、本年は今年4月に佐世保市に合併した五島列島宇久島訪問ツアーを実施します。福岡支部の皆さん、こちらも同窓会と違った楽しさが有りますので入会してみたいかががですか。新しい佐世保が発見できますよ。誌面の都合上詳しい活動状況は鵬友会ホームページに載っていますので是非ご覧下さい。

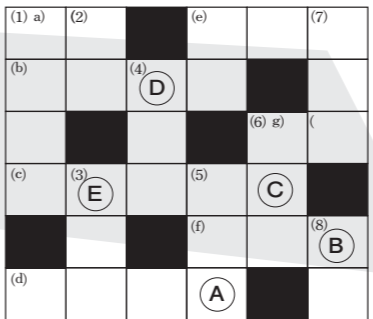
関東支部

●支部長 小室 宏 (62年度卒)
#0429・722・7631
熊本市美杉台1-20-15
(自宅)

関東支部近況

ここ、2、3年、県立大学から先生をお招きして、「囲む会を開いています。今年は、リスクマネージメント論・保険論の赤堀勝彦先生を囲むのでです。9月30日(土曜日)14時から池袋の東京芸術劇場第7会議室で行います。もちろん懇親会(17時から)もありますので、ご都合がつく時間にお越しください。この会報と前後して、往復はがきの案内状を発送していますが、届かない方は私の自宅(042-972-7631)までお電話ください。赤堀勝彦先生は、平成14年から県立大学で教鞭をとってられ、個人ブログも開設されておりhttp://blog.soo.ne.jp/akaborika_suhiko/赤堀ゼミ卒業生の方、赤堀先生に迷惑をかけた方?は必ずご出席ください。関東支部では就職支援の

実家(山田屋)など、これらの料理店が多い。
タテのカギ
1) プームに火をつけた「下町のナポレオン」で有名な麦焼酎の銘柄。大分県宇佐市の三和酒類醸造2) 〇〇山シーズン到来。九重連山では若者男女の登山客で賑わう。
3) 鵬友会大分支部二代目支部長〇〇〇田氏。(瓜生田と書く)
4) 大分市の難読地名、「寒田」と書く。
5) 別府・熱海と並び称せられる群馬県の温泉地。〇〇〇〇よと一度はおいで。ドッコイシヨ。別府温泉にもぜひおいで下さい。
6) キリタン検査のため実施された施策。二豊諸藩は長崎奉行所作成のものを借用、使用した。
7) 別府温泉観光の目玉のひとつ。海。〇〇〇坊主。〇〇〇竜巻。〇〇〇〇〇。おいで。是非是非。〇〇〇〇〇〇。お楽しみ下さい。
8) 英語で「GOLD」。大分県には全国有数の金山があった。そのうち「鯛生金山(日田市津江)」は、坑道を保存、見学できる。
※十一月に大分支部総会を予定しています。大分県ご出身の方、お勤めの方、ぜひご連絡ください。
Mail: s-inaba@dream.ocn.ne.jp
#097-543-8098
#090-9567-2101



A~Eに言葉を入れるとある草花の名前になります。答と住所、氏名、卒業年度を書いて事務局に送ると先着20名にプレゼント!(当選は発送をもって行います)

セミナーをOBセミナーと呼んでいますが、昨年の会報で反響が多かったOBセミナー黎明期の話の続きをします。平成7年7月に第1回を実施し、11月の支部総会で、都合がつかずに参加できなかった会員にもその内容を紹介したところ、「今後継続して支部活動の柱とする」決議となり、名称は「企業セミナー」から全てのOBが支援する意味合いの「OBセミナー」へ変更し、内容も「企業訪問・OBとの懇親会」以外にOBセミナーという名称にふさわしいセッションを設け、会場予約から関東支部で行おうと話は盛り上がりました。そして、第2回OBセミナーは平成8年8月に、学生の宿泊も講座の会場も私の勤務先の福利厚生施設を使って実施しました。

	8/22(木)	8/23(金)	8/24(土)
午前	学生集合	企業への訪問	概観面接
午後		企業への訪問	学生解散
夜	講座「業種・企業の選び方」 講座「リクルートファッションとメイク」 講座「適性検査(SPI)」 OBとの懇親会	講座「リクルートファッションとメイク」 OBとの懇親会	

講座「業種・企業の選び方」は、当時某証券経済研究所にお勤めのIさんが講師となり、本音の情報を伝えてもらいました。講座「適性検査(SPI)」は、採用をご担当されていたEさんが講師となり、広まりつつあったSPIへの対応を伝授してもらいました。講座「リクルートファッションとメイク」は、お仕事の延長で身につけていたOさんが講師となり、実践も交えてもらいました。私がお話ししておきたいのは、他大や商売で行われていた就職セミナーを見聞きしたわけでもなく、依頼したわけでもなく、純粹に「学生の為に」との思いで何度も集

長崎支部

●支部長 古川 信利 (46年度卒)
#0958・05・6477
長崎市五島町5-34-1110
(自宅)

継続は力なりの考えで

長崎支部は平成18年1月28日に長崎市の「セントポール長崎」で恒例の新年会を開きました。大学から木村道夫県公立大学法人理事長、本部から前田会長、さらに元大学職員の出田さん、野田さん、馬場さんにも出席いただきました。大学法人設立後、初めて参加いただいた木村理事長から大学の近況、長崎シーボルト大学との統合などの動きを伺い、鵬友会会員としても大学のますますの発展振りに心強く感じました。支部としてのまとまった活動は、この年一回の新年会しかしていません。継続は力なりという事で粘り強く続けていき一人でも多く参加していただく事を願っています。



まっては議論を繰り返して、それだけの持ち味を最大限に生かして、セミナーを組み立てていったという事です。残念ながら、当時、大学には就職支援専門の部署がなく、学生課が窓口となつていたので、学生への呼びかけが十分にできず、学生の参加は16名に留まりました。それに引き替え、OBは延べ26名参加してくださり、講座を後ろで見学したOBが、OBとの懇談会でそれぞれ自分の得意分野を披露してくださったため、予定の終了時間を大幅にオーバーしてまさに、同窓の輪の広がりを実感した次第です。ここで私事ながらお話ししておきたいことがあります。平成6年より始めたOBセミナーに象徴される「母校の就職支援」こそが、私のライフワークとの強い思いから、昨年、28年間勤めました会社を退職いたしました。しかしながら、十分な活動のステージを担保しないままの決断であり、反って、葬儀関係の会社に再就職したため、当分の間は今までもまなならず、関東支部会員の皆様方にご迷惑をかけてしまいました。予定されていた1月のOBセミナーが中止となり、今後の関東支部の就職支援活動を一から構築することになりました。今まで以上に皆様方のお力をお貸しいただくほか、すべはございません。ただ、「私のライフワークは母校の就職支援」との想いは状況が困難であればあるほど、強く燃えております。この10年余りで培った経験と多くの人のふれあいを活かせるステージを得て、母校の発展に寄与できるように、今後のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

活き活き観光都市—佐世保市— ~エコノミーとエコロジーが共存する町おこして観光振興~

外国人宿泊者数が約11.1万人(平成8年)から約16.5万人(平成17年)に!
佐世保バーガーの売り上げが約30万個(平成13年)から約200万個(平成16年)に!

- ◆東アジア圏でも人気の高いハウステンボスを中心に、国際的な観光地へ
- ◆西海国立公園・九十九島を柱に、人と環境に優しい観光地へ
- ◆佐世保バーガー、九十九島牡蠣等、「食」のブランディングを推進



ハウステンボス

30万本の季節の花が咲き、40万本の木々が茂る、152haの広大な街。煉瓦の建物はどれも本物で、日常をすべて忘れてゆったりとした時の流れに身を置くことができます。

この街で使われる水は完全にリサイクルされ、大村湾には一滴の汚水も流しません。ごみも細かく分別し、生ごみはコンポスト化され肥料として再利用されています。オランダの国づくりを学び、環境を再生させ、自然と共生しながらよりよい環境に育てています。街をめぐように走る運河は全長6kmにも及び、大村湾から海水を引き込んでいます。潮の干潮の差で水を入れ替えるので、水はとつても澄んでいて、数十種類の魚や貝が住んでいます。

この街は季節ごとに色とりどりの花が咲き、木々の葉は初夏に芽吹き、秋には紅葉し、冬には光の粒をまといます。7月には、昨年の愛知万博で約三百万人が訪れた人気パビリオン「キララ」を譲り受け、月がない世界や現存する美しい自然を迫力ある映像で描いています。



西海国立公園 九十九島

九十九島を含む西海国立公園は、1955年(昭和30年)に、日本で18番目に指定を受けています。

長崎県北西部一帯とその西側海上に浮かぶ「九十九島」は、佐世保湾外から平戸瀬戸まで25キロの海上に連なる島々のことで、島の数は208、島の密度は日本一といわれています。市内数ヶ所の展望台からは九十九島の大パノラマの風景を望むことができ、ハリウッド映画「ラストサムライ」や映画「釣りバカ日誌16」等にも美しい夕景が登場しています。

■主な展望所 展海峰、船越展望所、石岳展望台



西海パールシーリゾート

九十九島の玄関口となるリゾートパーク。リゾート内には九十九島遊覧船「パールクイーン」、水族館が人気の「西海パールシーセンター」をはじめ、ヨットやシーカヤックなどの九十九島の体験基地となっています。お土産品店やレストランなどもあり、デッキや芝生広場では一年を通じて楽しいイベントも催されています。

■主な施設 水族館、船の展示館、アイマックスドームシアター

九十九島遊覧船パールクイーン

九十九島観光のメインクルージング。島々の間を抜け海の上をすべる様は快適そのものです。

風の囁きと美しい景観が心に新しい感動を届けてくれます。

佐世保市では、このような取り組みをしています!!

国際観光誘致

山東省青島市、遼寧省大連市、北京市への観光トップセールスを実施するとともに、昨年度には、「佐世保市民観光訪問団」(約100名)による「青島市」「大連市」への観光プロモーションを展開し、積極的な観光客誘致を行っています。

留学生連携

市内におよそ300人おられる東アジア地域からの留学生と連携し、佐世保観光の不便なところは指摘いただき解消しつつ、携帯端末の活用等により留学生が手軽に佐世保の観光情報を発信できるような仕組みづくりに取り組んでいます。

漁業・農業者連携

エコツーリズムの推進を前提に、漁業者・農業者の研修事業を実施しています。具体的には漁業者は佐世保市内ほぼ全域の漁業者を対象とし、農業者については日本文化を広める意味から世知原茶の観光開発に取り組んでいます。

●エコツーリズムとは?

「自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のあり方」(環境省の定義)

「させぼエコツーリズム」基本計画の特徴	地球に優しい生き方の提唱	観光関連施設等の取り組み	ランドオペレーター(受血組織)の構築
「させぼエコツーリズム」の具体的事業等			
◆資源の保全と活用 佐世保地区の自然・歴史・文化・産業等、貴重な資源を保全し活用するため、ガイドラインやルール等をつくります。			
◆人材の育成と活用 来訪者や市民に対して佐世保地区の魅力を適切かつ印象的に伝えるガイドおよび地域や人をつなぐ地域コーディネーターを育成します。			
◆エコツアー バリエーションに富んだ佐世保地区の資源や人材を活かした「させぼエコツアー」のプログラム開発および認証制度の確立等を進めます。			
◆観光関連施設等の取り組み 来訪者との直接的な接点となる観光施設、宿泊施設、交通機関等が独自で「させぼエコツーリズム」に関する取り組みを企画・実施します。			
◆市民としての取り組み 自治会や各種団体等が主体となって「させぼエコツーリズム」に関連する取り組みを企画・実施し、市民活動を活性化させます。			
◆ランドオペレーター(受血組織) 「させぼエコツーリズム」推進の核となるランドオペレーター(受血組織)を構築して、資源や人材等の管理を行い、受け入れ体制の充実を図ります。			
◆関連施設等の整備と維持管理 案内所、休憩所、遊歩道、トイレ等のほか、セルフガイダンスのための案内板や表示等を整備し維持管理する際、「させぼエコツーリズム」の考え方を盛り込みます。			
◆情報発信と普及啓発 ランドオペレーター(受血組織)が中心となり「させぼエコツーリズム」の情報一元化を図ります。また、総合パンフレットの作成やホームページの充実に努めます。			
◆「させぼエコツーリズム・モデルエリア」の設定 様々な事業を効果的に進めるため、先進的な取り組みとして「させぼエコツーリズム・モデルエリア」を設定します。			

鵬友会会員の皆様におかれましては、益々御健勝の事とお慶び申し上げます。

さて、鵬友会の恒例事業になりつつある佐世保就職セミナーが、今年もまもなく開催されます。このセミナーは、同窓会として、現役学生(3年の学生)に就職活動において何かお手伝い出来ないものかと一〇年以上も前から開催されてきました。このセミナーのスタートの頃は、烏帽子の青年の天地で1泊2日の合宿形式でスタートしました。2日間詰状態で私達OBも学生にとってもかなりハードでした。学生にとっては夜はバイト等もあつて通いのセミナーをしてほしいという要望もあり、最近では、学内にて2日間通いで行なわれ、内容については、個人面接、グループ面接、グループディスカッションを中心に、その前後に就職活動における礼儀作法・心構え等のOBによる講義や就職活動を終えた4年学生の体験談、他OBによる話等があり、夜はOB等と学生の懇親会でいろいろなお話の経験談、実学の話が学生との間で交わされ、学生にとっては本当に有意義な体験と時間が過ぎ



ごせた事と思いません。

昨年(平成一七年)は11月12・13日に学内で学生169名、指導者としてOB及び教職員64名、計233名が参加して行なわれました。学生の希望者が多く、参加出来ない学生も多数出た程の盛況でありました。

これもひとえに、セミナーの内容はもとよりOBの皆様、教職員の方々の協力があったからにほかなりません。本当にありがとうございます。また、おかげさまで、今春卒業生の就職率は96.4%と昨年より1.7ポイント上昇し、求職率も83.0%と年々上昇傾向にあります。このことは皆さまのご支援の賜であると深く感謝いたしております。

恒例就職セミナー 本年は10月21・22日開催

就職率 今年も記録更新!

求むセミナー応援者

本年は10月21・22日開催、参加学生は150人以上、多数の応援者を期待。

年々就職セミナー参加希望者の増える状況下で、未来を担う学生の熱い想いに応えるため、鵬友会では大学と一体となり、試行錯誤しながらセミナーメニューを考えてきました。模擬面接、OB体験談、ミーティングや講演会、自己分析等。毎年これらのスケジュールを実施するにあたっては多くのスタッフが必要となりますが、応援OBスタッフの数が不足しています。先の見えない今日だからこそ、県立大OBとして就職セミナーの応援にかけつけて頂けませんか

お問い合わせ・お申し込みは各支部長又は鵬友会事務局まで

います。

又、就職課の皆様の準備も大変だと思えますがよろしくお願ひしたいと思います。

鵬友会副会長 藤木秀人



長崎県立大学経済学部教授 赤堀 勝彦

鵬友会会員の皆さま、日頃より後輩へのご指導・ご支援を頂き誠にありがとうございます。

おかげさまで、今春卒業生の就職率は96.4%と昨年より1.7ポイント上昇し、求職率も83.0%と年々上昇傾向にあります。このことは皆さまのご支援の賜であると深く感謝いたしております。

最近の動向を見ておきますと、学生は積極的に就職活動に取り組む、志望企業から内定を勝ち取るように強い意志を持って行動するようになりつつあります。併せて、就職課の利用も増加しております。

「学生の就職活動は、佐世保就職セミナーから始まる」と言っても過言ではありません。

昨年の佐世保セミナーには約150名が参加して、参加した学生は就職活動のリミッターとして他の学生に良い影響を与えておられ、今年の内定者は昨年を上回るペースで増加しております。

今年度佐世保セミナー参加者を募集したところ、申込開始から1週間



間で定員150名に達し、キャンセル待ちの学生も相当おります。それだけ学生はこの佐世保セミナーの意義を理解し、今後の就職活動へ向けて真剣に取り組もうと意欲を高めています。

本学は後輩のために就職支援をしてくださる素晴らしい先輩方にも恵まれ、学生も他大学にならぬ暖かい雰囲気の中で、研究やサークル活動に励み、充実した大学生活を送っております。また、卒業された先輩方の功績や先生方の協力や企業からの求人数も増加するなど、学生にとっては就職活動を行ううえで明るい材料が揃ってきました。

最近では資格取得を目指す学生も増加し、特にFP(ファイナンシャル・プランニング)講座や簿記講座は本学の人気講座として定着しており、毎回多数の学生が受講しております。また、その他各種検定にも積極的に取り組まれているのが実感できます。

毎年、新入生を対象に意識調査を実施して、本学を選んだ理由等を尋ねておりますが、今年も「就職率がよい」「資格が取れる」といった声が寄せられ、保護者の方からも同様に支持されております。

今後、入学志願者は以前にも増して大学の「出口」である就職状況を注視し、大学を選んでいくと



思われますので、私共も入学から卒業まで一貫した個別指導を徹底し、他の大学にはない暖かさを持って、学生の育成に励んでまいります。

本学は法人化2年目となり、就職率も昨年を上回ることでできるより更なる大学改革に取り組んでおります。今年も就職セミナーでは大変お世話をおかけしますが、「社会に求められる人材育成」を目標に教職員一丸となって努力してまいりますので、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成18年度予算

(収入の部) (単位: 円)

平成18年3月31日

科目	予算金額	備考
会費 (卒業生)	120,000	@12,000×10名
会費 (新入生)	6,000,000	@12,000×500名
名簿代	—	
1 預金利息	1,600	
2 雑収入	300,000	総会費 300千円
3 (小計)	6,421,600	
4 前年度繰越金	575,197	
5 合計	6,996,797	

(支出の部)

科目	予算金額	備考
1 鵬祭援助金	250,000	
2 卒業記念品代	250,000	
3 通信費	1,300,000	
4 人件費	800,000	
5 支部活動費	700,000	
6 旅費交通費	100,000	
7 渉外費	350,000	
8 事務局費	400,000	
9 印刷費	1,000,000	
10 鵬友会基金特別積金	1,000	
11 40周年積立金	500	
12 留学生関係費	—	
13 会議費	200,000	
14 総会費	1,100,000	
15 雑費	45,297	
16 部活援助費	200,000	
17 就職活動援助費	300,000	
(小計)	6,996,797	
次年度繰越金	—	
合計	6,996,797	

平成17年度予算及び決算報告書

(収入の部) (単位: 円)

平成18年3月31日

科目	予算金額	実績金額	備考
1 会費 (卒業生)	240,000	156,000	@12,000×13名
2 会費 (新入生)	5,880,000	5,880,000	@12,000×490名
3 名簿代	—	3,000	
4 預金利息	1,500	1,473	
5 雑収入	60,000	121,000	
(小計)	6,181,500	6,161,473	
前年度繰越金	381,981	381,981	
合計	6,563,481	6,543,454	

(支出の部)

科目	予算金額	実績金額	備考
1 鵬祭援助金	250,000	250,000	
2 卒業記念品代	250,000	252,000	
3 通信費	1,000,000	773,027	
4 人件費	900,000	790,375	
5 支部活動費	700,000	700,000	
6 旅費交通費	150,000	108,890	
7 渉外費	300,000	440,107	
8 事務局費	450,000	331,994	
9 印刷費	800,000	661,500	
10 鵬友会基金特別積金	451,400	500,843	
11 40周年積立金	—	593	
12 留学生関係費	350,000	349,303	
13 会議費	100,000	174,098	
14 総会費	300,000	184,793	
15 雑費	62,081	30,734	
16 部活援助費	—	20,000	
17 就職活動援助費	300,000	200,000	
18 鵬友会基金特別奨学金	200,000	200,000	
(小計)	6,563,481	5,968,257	
次年度繰越金	—	575,197	
合計	6,563,481	6,543,454	

《収入合計》 6,543,481 — 《支出合計》 5,968,257 = 《次年度繰越金》 575,197

平成18年6月6日 鵬友会会長 前田 敬一

収支決算書及び付属書類は適正であり、その計算は正確と認めます。

会計監査 宮地 学・千北 裕吉

平成17年度貸借対照表

(単位: 円)

平成17年3月31日

資産の部		負債・資本の部	
現金	20,204	40周年積立金	1,233,303
普通預金	554,993	記念品積立金	—
定期預金	6,474,727	鵬友会基金特別積立金	5,241,424
出資金	—	繰越金	575,197
計	7,049,924	計	7,049,924

平成17年度財産目録

(単位: 円)

平成17年3月31日

預金種目	金額	預入先
現金	20,204	
普通預金	526,856	親和銀行本店営業部
	28,137	親和銀行上相浦出張所
定期預金	6,474,727	親和銀行本店営業部
預金合計	7,049,924	
出資金	—	
合計	7,049,924	

平成17年度鵬友会基金特別積立金

(単位: 円)

平成17年3月31日

	金額	備考
期首残高	4,740,581	
期中増減	500,000	17年度基金積立
	843	定期受取利息
期末残高	5,241,424	

平成17年度40周年積立金

(単位: 円)

平成17年3月31日

	金額	備考
期首残高	1,232,710	
期中増減	593	定期受取利息
期末残高	1,233,303	

同窓会は終身会費で運営されています。会費納入にご協力下さい。